

人生に ファンタジー 物語を 取り戻そう

彼には物語がある
私にも物語がある

ファンタジー

物語を探しに行こう
物語を楽しもう
物語を信じよう
物語を疑おう
物語を創り出そう



ドン・ファン

マルグリット・デュラスの「苦悩」

グリム童話 ～少女と悪魔と風車小屋～

劇的舞踊「ホフマン物語」

異才・天才・奇才 第12回 SPACこども大会2011
SPAC高校演劇フェスティバル2011

1/22[土]→3/20[日]

SPAC

SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER

スプリング
シーズン
2011

さあ劇場へ。ここから対話が始まります。

芸術総監督 宮城聡

静岡県舞台芸術センター

「SPACスプリングシーズン2011」のテーマは「物語」!

人生に「物語」を描くのが困難な現代こそ…。

さあ、人生に物語を取り戻そう!

ドン・ファン 8 ページへ

次々と女性を射止めてゆくドン・ファンの物語
華やかな舞台美術のなか、
ラテンな世界が展開する仮面劇

El Don Juan

グリム童話 4 ページへ

~少女と悪魔と風車小屋~

SPAC芸術総監督宮城聡の
最新演出作

ボエムのような台詞と
美しいヴィジュアル…

誰もが息をのむ、とっておきの物語

Grimm's Fairy Tales
~The Girl without Hands~

Les Contes d'Hoffmann

La Douleur

劇的舞踊 12 ページへ 「ホフマン物語」

世界に発信する
ダンスカンパニーNoismの最新作
オペラで有名な『ホフマン物語』を
演出振付家・金森穰がダンス作品に!

マルグリット・デュラスの 「苦悩」 16 ページへ

フランスの名女優ドミニク・ブランが
静岡に登場!
強制収容所に捕われた夫の
帰りを待つ女の物語

SPAC高校演劇 フェスティバル2011

選抜された高校演劇部と
SPACのコラボレーション
ソーントン・ワイルダーの
“日常の物語”と格闘する
生徒たちの競演

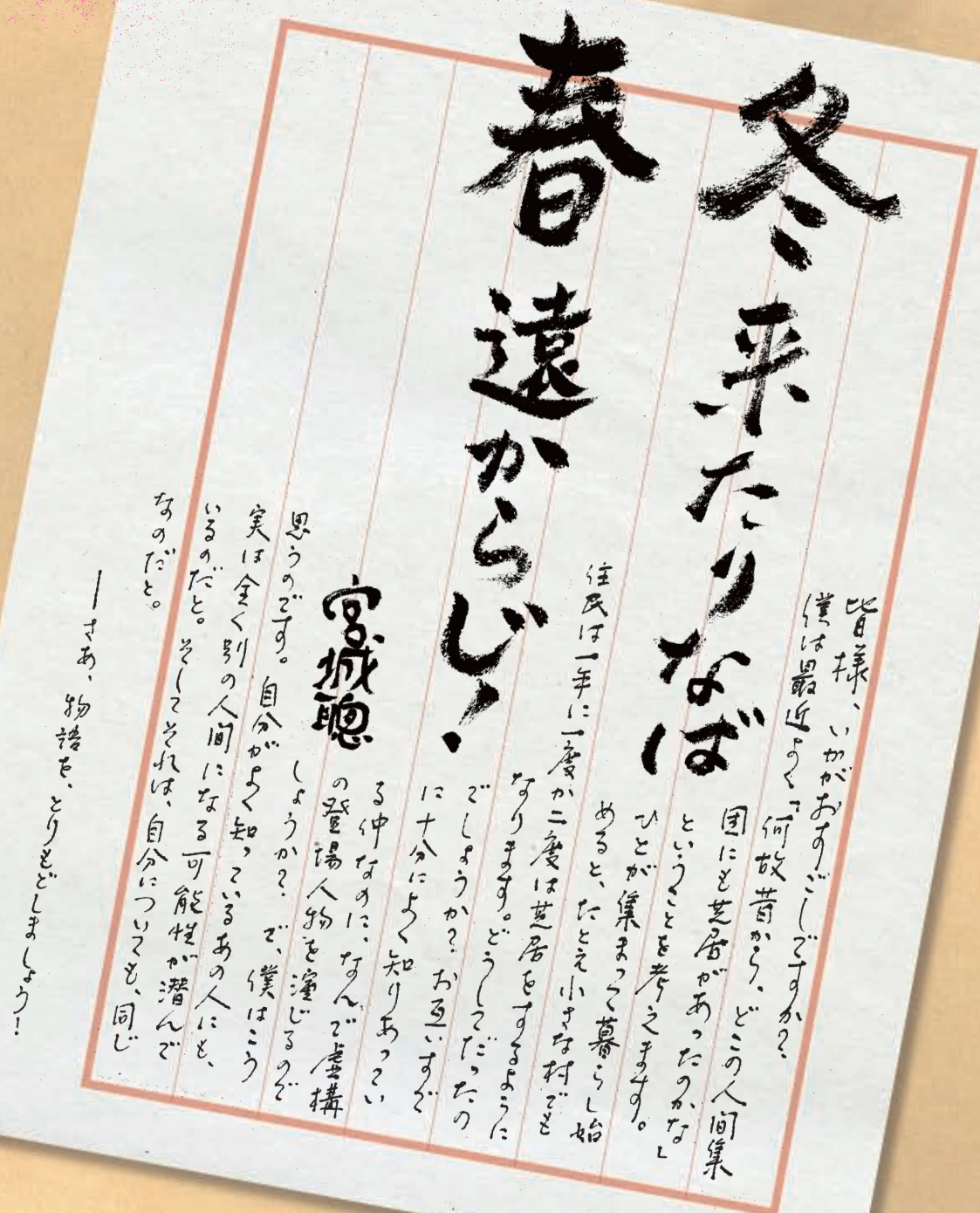
異才・天才・奇才 11 ページへ 第12回 SPAC子ども大会2011

静岡の子どもたちの元気パワー炸裂!
始まったばかりの、ぼくたち私たちの物語

		1月				2月				3月					
スケジュール		22日 [土]	23日 [日]	29日 [土]	30日 [日]	12日 [土]	20日 [日]	27日 [日]	4日 [金]	5日 [土]	6日 [日]	12日 [土]	13日 [日]	19日 [土]	20日 [日]
静岡芸術劇場	ドン・ファン	16:00	14:00 🚗🕒	17:00	14:00 🚗🕒										
	異才・天才・奇才 第12回 SPACこども大会2011					14:00									
	グリム童話									16:00 🚗🕒	14:00 🚗🕒	18:00 🚗🕒	14:00 🚗🕒		
	ホフマン物語													18:00 🕒	16:00 🚗🕒
舞台芸術公園 稽古場棟 「BOXシアター」	SPAC高校演劇 フェスティバル2011						13:30	13:30							
	苦悩								19:30 🚗🕒						

無料バス

無料バス(渋谷・浜松、三島・沼津、三島・富士発が運行いたします。詳しくはP.23をご覧ください。) ◎ 終了後、トークがあります。



俳優による生演奏
息をのむヴィジュアル
ポエムのような台詞による
ちいさな宝石箱のようなお芝居

宮城聰の最新演出作
SPAC×オリヴィエ・ピイ作品の第2弾

グリム童話

～少女と悪魔と風車小屋～



日本語上演
英語字幕

Grimm's Fairy Tales ~The Girl without Hands~

演出：宮城聰
作：オリヴィエ・ピイ
訳：西尾祥子、横山義志
音楽：棚川寛子
出演：美加理、大内米治、塩谷典義、大道無門優也、
武石守正、仲谷智邦、永井健二

Directed by Satoshi Miyagi
Written by Olivier Py
Translated by Sachiko Nishio
and Yoshiji Yokoyama
Music by Hiroko Tanakawa
Performed by Micari, Yoneji Ouchi,
Noriyoshi Shioya, Yuya Daidomumon,
Morimasa Takeishi, Tomokuni Nakaya
and Kenji Nagai

■ 5 March at 16:00
■ 6 March at 14:00
■ 12 March at 18:00
■ 13 March at 14:00

Shizuoka Arts Theatre
Duration : 75 minutes (expected time)

3月5日(土) 16時開演・6日(日) 14時開演
12日(土) 18時開演・13日(日) 14時開演

◎終演後、2階カフェシンドレラで出演俳優と交流する
「カフェシンドレラで逢いましょう!」があります。

◎終演15分後、宮城聰(演出家)とゲストによるトークがあります。

トークゲスト:3月 5 日野崎歓(フランス文学)、西垣通(メディア論・小説家)
3月 6 日高澤秀次(文芸批評)、若林幹夫(社会学・都市論・メディア論)
3月12日武田将明(文芸批評・英米文学)、櫻村愛子(社会学・精神分析)
3月13日吉見俊哉(社会学・文化研究)、大澤信亮(文芸批評)

静岡芸術劇場

上演時間:75分(予定)

一般大人4,000円／ペアチケット(2枚)7,000円／大学生・専門学校生2,000円／高校生以下1,000円

★SPACの会(P.21)のほか、ゆうゆう割引、グループ割引、早期購入割引、リピーター・くちコミ割引(最終頁)などの割引料金があります。
★静岡県内の中学生以下の方は30名までご招待あり! (お問い合わせ・お申し込みはSPACチケットセンター TEL.054-202-3399まで)

無料バス 浜谷発 浜松発 三島・沼津発 3月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)は無料バスを運行いたします。詳しくはP.23をご覧ください。

製作：SPAC(財)静岡県舞台芸術センター

宮城聰がオリヴィエ・ピイの話題作に挑む!

『グリム童話』の作者オリヴィエ・ピイはフランス国立オデオン座の芸術総監督で、劇作家・演出家・俳優として活躍し、世界中の注目を集める希有な演劇人です。「Shizuoka春の芸術祭2008」において、日本で初めて自身の作・演出作品を上演し、翌2009年には『グリム童話』3部作の公演を舞台芸術公園「榑円堂」で行いました。チケットは発売後すぐに完売し、そのすばらしい舞台は伝説的な公演となりました。「少女と悪魔と風車小屋」はこの3部作の第1部にあたり、ピイの神秘性が詰まった傑作です。珠玉の劇詩、出演俳優の歌と楽器演奏、そして誰もが息を呑むヴィジュアル…。宮城聰の演出によって生まれ変わるSPAC版『グリム童話～少女と悪魔と風車小屋～』にご期待ください!

あらすじ

風車小屋に住む粉屋が森で見知らぬ男に出会い、「風車小屋の裏にあるものを3年後にくれるなら金持ちにしてやろう」と言われる。粉屋は男の提案を受け入れ、瞬く間に金持ちになる。だが男と約束したそのとき、風車小屋の裏にいたのは粉屋の一人娘だった。男は悪魔だったのだ。3年後、悪魔は風車小屋を訪れ、約束を果たすことを迫ったうえ、粉屋に命じて娘の腕を切り落とさせる。娘は悲しみのあまり放浪の旅に出て…。『グリム童話』の残酷な世界と、まぎれもないハッピーエンドは、現代の私たちの心をも大きく揺さぶることになるでしょう。



撮影:Pascal Victor

■オリヴィエ・ピイ Olivier Py

劇作家、演出家、俳優。オデオン座芸術総監督。

1965年、南仏グラス生まれ。87年にパリ国立高等演劇学校(コンセルヴァトワール)に入学、並行してカトリック学院で神学と哲学を学ぶ。95年、アヴィニヨン演劇祭で上演時間24時間の自作『常夜灯―果てしない物語』7日間連続公演を敢行し、一躍脚光を浴びる。98年から2007年までオルレアン国立演劇センターを指揮、同年3月にオデオン座の芸術総監督に就任。03年にはクロード・デル「縋子の靴」(ジャンヌ・バリエール主演)の数十年ぶりの通し上演(11時間)を成し遂げた(09年3月に再演)。08年にはギリシア悲劇『オレスティア』3部作を自らの新訳で通し上演。『Shizuoka春の芸術祭』では08年に「イリュージョン・コミック舞台は夢」と『若き俳優への手紙』の2作品を、09年には「オリヴィエ・ピイのグリム童話」3部作を上演した。ピイは熱烈なカトリック信者として知られているが、彼自身はいつも「信仰よりも神秘が大事なんだ」と話している。今、ここにある世界を奇蹟として生きること。これはピイの『グリム童話』を貫くテーマでもある。

SPAC 芸術総監督
宮城聡
インタビュー

最新演出作『グリム童話〜少女と悪魔と風車小屋〜』を語る

詩の復権を目指して

『グリム童話〜少女と悪魔と風車小屋〜』の

演出を前にした宮城聡 ――
SPAC 芸術総監督に就任して
4年が経とうとしている。

この間、宮城は常に
静岡の観客と対峙し続けて来たが、
さらなる段階を模索し始めている。
宮城聡が、いま考えていることを、
率直に聞いてみた。



オリヴィエ・ピィと「詩の復権」

オリヴィエ・ピィ^{【注1】}との親交がひとつのきっかけでした。オリヴィエ・ピィの芝居は、ひとことで言うところ「詩の復権」です。「詩が人間を変えるんだ」という確信に基づいて創られている。言葉は道具じゃなくて、それ自体が「聖なる力」を持った「人間の口から発せられるけど人間を超えたもの」であり、それが演劇の起源なんだ、という考え方です。現代の演劇シーンを見渡すと、言葉を道具として使う演劇がほとんどになっている。あるいはその逆に、言葉への“疑い”から言葉を使わなくなっている、という傾向もある。そんな中、オリヴィエ・ピィには「言葉が人間あるいは肉体とどういう関係を持っているのか」という問題意識があります。そう言ってみると、僕がク・ナウカ^{【注2】}で「二人一役」という手法を使って、18年間追求してきたことも同じことになるのです。ク・ナウカでは「動いてはいけなくて台詞だけ言う人」と、「台詞を言っただけで動かない人」という、俳優をその二種類に区別して、「言葉と身体の関係」を違和感として露呈させました。

【注1】劇作家・演出家・俳優。フランス国立パリ・オデオン座芸術総監督。詳しくはP.5プロフィールを参照。

【注2】宮城がSPAC芸術総監督就任前に主宰していた劇団。1990年設立。現在活動休止中。

宮城聡 (みやぎ・さとし)

演出家。静岡県舞台芸術センター（SPAC）芸術総監督。

1959年、東京生まれ。90年、劇団「ク・ナウカ」を結成。アジア演劇の身体技法や様式性とヨーロッパのテキスト解釈を融合させた演出には定評がある。2004年、第3回朝日舞台芸術賞受賞。05年、第2回アサヒビール芸術賞受賞。海外公演も頻繁に行っており、06年10月にはパリのケ・ブランリー国立博物館クロード・レヴィストロース劇場のこけら落としとして『マハーバータ』を上演。代表作にエウリピデス『王女メディア』など。07年4月よりSPAC芸術総監督を務める。SPACでは07年11月に木下順二『巨匠』、08年5月に泉鏡花『夜叉ヶ池』、11月にシェイクスピア『ハムレット』、09年6月に唐十郎『ふたりの女』、10年3月にイブセン『ペール・ギュント』、6月にオリヴィエ・ピィ『若き俳優への手紙』、『王女メディア』を演出。自作の上演と並行して国際舞台芸術祭「Shizuoka春の芸術祭」では世界各地から現代の世界を鋭く切り取った作品を次々と招聘し、また「シアタースクール」や「小さいおとなと大きなこどものための夏休みシアター」「中高生鑑賞事業」など静岡の青少年に向けた新たな事業を展開、「世界を見る窓」としての劇場づくりに力を注いでいる。

『王女メディア』から『グリム童話』へ

ク・ナウカ時代の僕の代表作は、「Shizuoka春の芸術祭2010」でも上演した『王女メディア』です。静岡で、SPACの演出家としての僕の理想は、『王女メディア』で到達したクオリティを持ち、しかも子どもから大人まで何の前提もなく観にきて楽しめるという「平明さ」を持っている、そんな芝居を作ることです。今度の『グリム童話』では、その方向を模索したいと考えています。ただし『王女メディア』と同じ手法は使わずに――。

具体的には、まずヴィジュアルで誰もが「きれいねえ」と感じられるものを目指したいと思います。「宝石箱のような舞台」と言ったスタッフがいましたが、そんなイメージです。また今回は、日本の演劇の長所であり弱点であるところの舞台の平面性を、極端に押し進めたらどうかと構想しています。日本の舞台は横長です。絵巻物が展示されるときには横長にひろげてありますが、日本では絵巻物を見るときのように舞台を見る。ヨーロッパでオペラハウスに行くと、平土間席から見ても縦横比でいうと縦のほうが長い舞台を創っています。日本は逆。しかも奥行きがない。平面です。その特徴を最大限に活かしてみたらどうかと思っています。

『グリム童話』で目指す、新たな演劇的試み

それから「言葉と身体の関係」で言うと、『グリム童話』では例えば次のようなことをやってみたいと考えています。俳優が、ある格好をし、その形で静止する。そのまま台詞を言います。そうすると、言葉がいかに俳優の身体に影響を与えるのか、それが眼に見えると思うのです。身体は静止している、そのぶん言葉が自立して俳優の身体を攻撃する。言葉が身体にぶつかってくるわけです。俳優の一部分が言葉として吐き出されるわけではありません。中空にある言葉という独立したものが、静止している俳優に衝突するのです。このとき、いかに身体が変わるのか。怒りが込み上げるかもしれないし、喜びが湧き上がるかもしれない。「怒り」や「喜び」のように識別できる感情ですらない何か、体の中を稲妻みたいに駆け抜けるかもしれない。ぜひ舞台を見て、そんなことを確かめてほしいと思います。もちろん普通に観ていただいても楽しい作品ですが、こういうふう演技に注目しながら観るのは演劇だからこそその醍醐味で、きっと鳥肌が立つような面白さを感じていただけたと思います。「言葉が人間を変える瞬間」が、いかに感動的か。

現代演劇の俳優は、この挑戦をあまりやっていませんから、新しい試みにもなるはずです。

(2010年10月)



SPAC俳優がヨーロッパの仮面劇に挑戦した快作！
好評につき再演決定！
鮮烈な舞台美術、躍動感に溢れた演技…

ドン・ファン

El Don Juan

演出：オマール・ポラス
原作：ティルソ・デ・モリーナ、モリエール 他
出演：三島景太、池田真紀子、石井萌水、いとうめぐみ、
岡野真那美、奥野晃士、木内琴子、貴島豪、
榊原有美、たきいみき、館野百代、本多麻紀、
牧山祐大、吉見亮、若宮羊市

1月22日(土) 16時開演 ・ 23日(日) 14時開演

1月29日(土) 17時開演 ・ 30日(日) 14時開演

◎終演後、2階カフェシンドレラで出演俳優と交流する

「カフェシンドレラで逢いましょう！」があります。

◎23日と30日の終演後、オマール・ポラス(演出家)によるトークがあります。

静岡芸術劇場

上演時間：120分

一般大人4,000円／ペアチケット(2枚)7,000円／大学生・専門学校生2,000円／高校生以下1,000円

★SPACの会(P.21)のほか、ゆうゆう割引、グループ割引、早期購入割引、リピーター・くちコミ割引(最終頁)などの割引料金があります。
★静岡県内の中学生以下の方は30名までご招待あり！(お問い合わせ・お申し込みはSPACチケットセンター TEL.054-202-3399まで)

無料バス 渋谷発 浜松発 三島・富士発 1月23日(日)、30日(日)は無料バスを運行いたします。詳しくはP.23をご覧ください。

こどもたちの文化芸術鑑賞推進事業公演

1月13日(木)・14日(金)・17日(月)・18日(火)・19日(水)・20日(木)・21日(金)・24日(月)・25日(火)・27日(木)・28日(金)・31日(月)
2月1日(火)・2日(水)・3日(木)・4日(金)

各日13時30分開演 ※鑑賞事業公演の一般販売はございません。

製作：SPAC-(財)静岡県舞台芸術センター 協力：テアトロ・マランドロ 後援：スイス大使館



路上パフォーマンス開催！

1月15日(土) 14:00～ SHIZUOKA109前(静岡市葵区伝馬町)
15:00～ ベガサート地下広場(静岡市葵区御幸町)

(詳しくはP.22へ)

Directed by Omar Porras
Original text by Tirso de Molina and Molière etc.
Performed by Keita Mishima, Makiko Ikeda,
Moemi Ishii, Megumi Ito,
Manami Okano, Akihito Okuno,
Kotoko Kiuchi, Tsuyoshi Kijima,
Yumi Sakakibara, Miki Takii,
Momoyo Tateno, Maki Honda,
Yudai Makiyama, Ryo Yoshimi
and Yoichi Wakamiya

■ 22 January at 16:00
■ 23 January at 14:00
■ 29 January at 17:00
■ 30 January at 14:00

Shizuoka Arts Theatre
Duration : 120 minutes



キモカワ美しい!? 本格的な仮面劇が創り出す心躍る舞台

『ドン・ファン』は、演出家オマール・ポラスをSPACに迎えて制作した仮面劇です。オマール・ポラスは現在スイスで活躍するコロンビア出身の演出家で、鮮烈なヴィジュアルを伴う躍動感に溢れた舞台を得意とし、自身が主宰する劇団「テアトロ・マランドロ」はスイスの人気劇団になっています。そのオマール・ポラスが、2009年の夏から秋にかけて静岡に滞在し、SPAC俳優と共にこの作品に取り組みました。＜コメディ・デラルテ＞と呼ばれる16世紀イタリア発祥の仮面即興劇の要素を本格的に取り入れた本作は、日本人俳優が出演したものとしてはこれまでにないものとして驚きと賞賛をもって受け入れられました。仮面をつけた俳優たちは、可愛いような気味の悪いような、またどこか妖艶な雰囲気漂わせ、絵本の世界にも似た夢のような舞台を創り上げます。オマール・ポラスの演出や極彩色の舞台美術が織りなす、独自のラテン的な世界をお楽しみください！

世紀の色男ドン・ファンの運命の物語

女たらしの代名詞として有名なドン・ファン。本作は数あるドン・ファン物語のなかからティルソ・デ・モリーナ作『セビーリヤの色事師と石の招客』やモリエール作『ドン・ジュアン』等いくつかの作品をコラージュしています。ドン・ファン物語に共通する要素を繋ぎ合わせることで、女性への興味に憑かれた男ドン・ファンの生き様がより鮮明に浮き彫りになるよう構成されています。辿り着いた先々で、次々と女性を射止めては、逃げ続けるドン・ファン。この男の追い求める生き様とは一体…。

あらすじ

イタリア・ナポリ宮廷の一室。ドン・ファンはドニーヤ・イサベラに近づくため彼女の婚約者であるドン・オクタビオ公爵になりすまし、暗闇の中で彼女と関係を結ぶ。しかし正体のばれたドン・ファンは追われる身となり、宮廷の騒動を尻目にスペインへと逃亡する。スペインへの途上、船が難破し従者のスガナレルとともにタラゴナの海岸へ打ち上げられる。彼はそこで漁師の娘ティスベアを口説き見事に思いを遂げると、あっという間に逃げ出す。故郷のスペイン・セビーリヤに戻ったドン・ファンは、ドニーヤ・アンナ・デ・ウリオアの美しさを聞きつけ、早速彼女のもとへ向う。そこで思わぬ抵抗にあい、成り行きで彼女の父ドン・ゴンサロ・デ・ウリオアを殺してしまう。またも逃亡を余儀なくされるドン・ファン、その運命やいかに…。



撮影：Monica Barreneche

■オマール・ポラス Omar Porras

演出家、俳優。

1963年、ボゴタ(コロンビア)生まれ。南米各地でダンスや演劇を学んだ後、20歳で渡仏。地下鉄で人形劇を上演しながら生活費を稼ぎ、ルコック演劇学校とパリ第三大学演劇科に通う。90年にジュネーヴ郊外の廃屋をアトリエに改造してテアトロ・マランドロを創立。パリ島、インド、日本などのアジア演劇の手法やメイエルホロドのピオメハニカなど、あらゆる演技法を貪欲に取り込み、人形劇やダンス、音楽などとも調和させていくポラスの演劇実験室は、ヨーロッパや南米の各地から若い俳優たちを惹きつけていった。99年には静岡でのシアター・オリンピックスに『血の婚礼』で参加、以来2009年まで計6回来静し、観客を魅了し続けている。代表作に『コピュ王』、『貴婦人故郷に帰る』など。近年は『愛の妙薬』、『魔笛』などオペラの演出も多く手がけている。07年、コロンビア国家功労勲章を受章。



コラム

植村恒一郎 Tsuneichiro Uemura

明るく、楽しく、心洗われる喜劇

我々はモーツァルト『ドン・ジョバンニ』とモリエール『ドン・ジュアン』はよく知っているが、それ以外のドン・ファンバージョンには接する機会は少ない。最初の作品は、スペインの修道僧(!)ティルソ・デ・モリーナが書いた『セビーリヤの色事師と石の招客』(1630)であり、モーツァルトの『ドン・ジョバンニ』(1787)以前に、演劇版だけでも計15作品がリメイクされた。それほどドン・ファンは人気作だったのだ。

オマール・ポラス演出の『ドン・ファン』は、ティルソ・デ・モリーナの原作をもとにしているので、とても貴重な上演だ。ドン・ファンの内面的性格が描かれるというよりは、全篇が、音楽と踊りと滑稽な仕草に溢れており、めちゃくちゃに楽しいドタバタ喜劇になっている。ドン・ファンは次々に女性をものにしては棄てるのだが、女性たちはいつまでも自分がドン・ファンに愛されていると錯覚し、私こそがドン・ファンの妻であると互いに争って大騒ぎする。ドーニャ・エルピラも含めて、どうも女性たちはドン・ファンその人を恨んではいけないようで、最後まで女性たちはとても明るくお祭りのように騒ぐだけ。

ドン・ファンその人の人間像も、モーツァルト版やモリエール版とはかなり違う。ドン・ファンは、モーツァルト版では深みのあるキャラだが、原作では、二十歳くらいの青年で、ひたすら好色で女好きなだけ。何も考えていないアサーイ男、カルーイ男で、どうしようもなく未熟なイケメンだ。むしろ従者のスガナレルの方が、年配の男性で分別がある。「そんなことをすると、死後罰せられるぞ」とスガナレルに諭されるドン・ファンは、そのたびに、「えっ、死後なんてずっと先のことじゃん、関係ないよ」とあつけらんとしている。要するに『ドン・ファン』は、女の子をナンパするのが大好きな貴族を好意的に描く若者劇で、ドン・ファンが特別の例外というわけでもなく、似たような友人も出てくる。今回のオマール・ポラス版では、少年のように初々しいドン・ファンが活躍するが、深刻な悲劇的様相を帯びるモーツァルト版とは大いに違う原作の味を、うまく醸し出すのに成功している。

■ 植村恒一郎(うへむら・つねいちろう)

群馬県立女子大学教授、哲学者。著書『時間の本性』により、第15回和辻哲郎文化賞を受賞。演劇、オペラ、映画などについても造詣が深い。

異才・天才・奇才

第12回 SPACこども大会2011

子ども達による、オンリーワンなパフォーマンスが大集合!

子ども達がユニークな身体芸を披露します

『異才・天才・奇才 SPACこども大会』はSPAC人材育成事業の一環として2001年より始まり、今回で12回目の開催となります。静岡県内全域から小学生の出演者を募集し、静岡芸術劇場のステージで得意の身体芸を披露してもらいます。披露される身体芸は様々で、これまで歌やダンスをはじめ、創作和太鼓やドラムといった楽器演奏、剣舞、切り絵、漫才、落語、朗読など、多彩な演目が並びました。子ども達に、広い舞台の上で小さな身体を思う存分使って精一杯の力を発揮してもらいたいという願いから、「マイクを使わない」というルールが設けられています。この「SPACこども大会」は、子ども達が本来持っている個性と、その身体能力の可能性を再発見する場として、また多くの大人たちにとっては、子ども達の生き生きとした姿に励まされ、感動を受け取る場として親しまれてきました。前回の第11回までに474組、合計1026名の子ども達が出演しています。

SPAC劇団員が「チューター」として子ども達をサポートします

『異才・天才・奇才 SPACこども大会』では、SPACの劇団員である俳優やスタッフが出演者1組につき1名付き添い、舞台の上で100パーセントの力を発揮する秘訣をアドバイスしながら、リハーサルから本番までの1日をともに過ごします。参加者の中には毎年出場を希望する子ども達もいて、地域とSPACの継続的な交流の場ともなっています。

発表会

2月12日(土) 14時開演 ※発表時間は1組につき4分以内です。
会場：静岡芸術劇場 入場料：無料(要予約)
予約受付：1月29日(土) 10時～
SPACチケットセンター TEL.054-202-3399
主催：SPAC-(財) 静岡県舞台芸術センター

出演者募集について

参加費：無料
応募対象：静岡県在住の小学1年生～6年生
応募締切：2010年12月27日(月) 必着
※募集の詳細については SPAC 芸術局 (TEL.054-203-5730) までお問い合わせください。

SPAC人材育成事業

SPACでは「こども大会」や「高校演劇フェスティバル」(P.15)のほか、様々な人材育成事業を行っています。

シアタースクール

静岡県内の小中高生から参加者を公募し、夏休み期間の約1ヶ月の稽古を重ね、発表会として公演を行います。

県民劇団育成事業

これまでのSPAC人材育成事業に参加した県民が中心となる劇団活動に対して、育成支援を行っています。

県民参加体験創作劇場

静岡県内から出演者を公募し、SPACの俳優、スタッフと共に舞台作品を創作します。年齢・経験を問わず、舞台に立つことを体験してもらっています。



世界へ発信するダンスカンパニー「Noism」最新作

劇的舞踊

Les Contes d' Hoffmann

「ホフマン物語」

新潟限定公演にこだわった意欲作が
いよいよ静岡に登場！

写真撮影：篠山紀信

演出振付・空間：金森穰

音楽：トン・タツ・アン

衣裳：中嶋佑一 (artburt)

照明：伊藤雅一 (株式会社 流)、金森穰

出演：Noism1 & Noism2

3月19日(土) 18時開演 ・ 20日(日) 16時開演

◎終演後、金森穰(演出振付家)によるトークがあります。

静岡芸術劇場

上演時間：135分(途中休憩あり)

一般大人4,000円／ペアチケット(2枚)7,000円／大学生・専門学校生2,000円／高校生以下1,000円

★SPACの会(P.21)のほか、ゆうゆう割引、グループ割引、早期購入割引、リピーター・くちコミ割引(最終頁)などの割引料金があります。
★静岡県内の中学生以下の方は30名までご招待あり！(お問い合わせ・お申し込みはSPACチケットセンター TEL.054-202-3399まで)

無料バス

渋谷発

3月20日(日)は無料バスを運行いたします。詳しくはP.23をご覧ください。

主催：SPAC-(財)静岡県舞台芸術センター 製作：りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館

話題の「Noism」を率いる
若きカリスマ演出振付家・金森穰が
「舞踊の物語性」を追究した意欲作！
操り人形、男装の娼婦、病弱な娘…
過去の金森作品が凝縮した
比類なき「ホフマン物語」



写真撮影：篠山紀信

Noism芸術監督で演出振付家の金森穰は難解だと思われがちなコンテンポラリー・ダンスに、あえて「物語」を持ち込み、誰もが共感できるダンス作品を創り上げました。劇的舞踊『ホフマン物語』——。作曲家オッフェンバックのオペラで有名な『ホフマン物語』をもとにした本作では、操り人形、男装の娼婦、病弱な娘と、次々に恋をするホフマンの姿が描かれます。「人形、娼婦、病人」、これらのキーワードは金森が振付において追究してきたテーマでもあり、本作は過去の金森作品が凝縮した集大成となりました。金森穰率いるNoismの新境地をお見逃しなく！

新潟限定公演がついに静岡で解禁！

本作は、メインカンパニーであるNoism1と研修生カンパニーであるNoism2の初の合同公演として、2010年7月に初演されました。総勢19名による壮大なコンテンポラリー・ダンスはそれだけでも注目を集めるのに充分なものでしたが、あえて「新潟限定公演」として上演され、多くの観客が劇場へ押し寄せました。そんなこだわり抜かれた作品が、いよいよ静岡に登場します。今回の静岡公演は新潟市外での初の上演となります。

物語の始まり

突然目映い光が空間を照らし、激しいノイズが鳴り響く。すると様々な大きさの木片を手にした黒衣達が現れる。黒衣達は竜巻の様に空間を移動し、アントニアをE.T.A.の前から連れ去って行く。アントニアを追いかけようとするE.T.A.の前に、木片の壁が築き上げられてゆく。黒衣達はE.T.A.を椅子に座らせ、風の様に消えて行く。嵐は過ぎ去り、まるで何事もなかったかの様な静寂が訪れ……



写真撮影：Isamu Murai

■ 金森穰 (かなもり・じょう)

演出振付家、舞踊家。りゅーとびあ(新潟市民芸術文化会館)舞踊部門芸術監督／Noism芸術監督。ルードラ・ベジャール・ローザンズにて、モーリス・ベジャールらに師事。ネザーランド・ダンス・シアターⅡ、リヨンオペラ座パレエ、ヨーテボリパレエを経て2002年帰国。2003年初のセルフ・プロデュース公演『no-mad:ic project~7 fragments in memory』で第3回朝日舞台芸術賞を受賞し、一躍注目を集める。2004年4月、新潟りゅーとびあ舞踊部門芸術監督に就任し、劇場専属舞踊団Noismを立ち上げる。自らの豊富な海外経験を活かし、革新的なクリエイティビティに満ちたカンパニー活動を次々に打ち出し、そのハイクオリティな企画力に対する評価も高い。平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成20年度新潟日報文化賞ほか受賞歴多数。
www.jokanamori.com

■ Noism1(ノイズムワン) (노이즈원)⁰¹

Noismのメインカンパニー。りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館が、舞踊部門芸術監督に金森穰を迎えたことにより、劇場専属のダンスカンパニーとして2004年4月設立。日本初、ヨーロッパスタイルのプロフェッショナル・ダンス・カンパニーとして、次々に発表する独創的な企画、作品は、日本のコンテンポラリー・ダンス界を牽引している。2007年以降、海外7カ国10都市でも公演。2013年8月までの活動延長も決まり、新潟からの劇場文化発信の一翼を担う存在として、益々大きな期待と注目を集めている。第8回朝日舞台芸術賞舞踊賞受賞。 www.noism.jp/
●メンバー：井岡佐和子(副芸術監督)、宮河愛一郎(パレエマスター)、藤井泉、櫛田祥光、中川賢、青木枝美、真下恵、藤澤拓也、後田恵、計見英、宮原由紀夫

■ Noism2(ノイズムツー) (노이즈원)⁰²

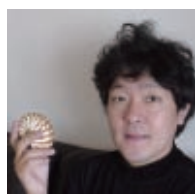
Noismの研修生カンパニー。りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館のレジデンシャル・ダンス・カンパニーNoism1付属の研修生カンパニーとして、2009年9月設立。2010年3月には初の単独公演を行った。現在8名が在籍し、日々研鑽を積んでいる。 www.noism.jp/
●メンバー：篠原未起子(パレエミストレス)、亀井彩加、石垣文子、角田レオナルド仁、廣川沙恵、堀川美樹、山崎文香、池ヶ谷奏、加藤明志

■ 孫仕安(トン・タツ・アン) Tôn Thất An

ベトナム系フランス人作曲家、歌手、ピアニスト。1970年パリ生まれ。彼の父で作曲家のトン・タツ・ティエにより、幼少よりピアノや音楽教育を受ける。作曲家として研鑽を積み、90年後半に舞台のための作品を創作するようになる。2005年に金森穰に出会い、Noismのために『NINA—物質化する生け贄』(2005)と『PLAY 2 PLAY—干渉する次元』(2007)を作曲。2010年には台湾人振付家ファン・イーと共にクラウド・ゲートⅡのためのダンス企画や、新アルバム『Hyperbody!』をリリースするなど活躍がめざましい。 www.aakenmusic.com

■ 中嶋佑一(なかしま・ゆういち)

1981年生まれ。16歳から服を作り始め、2007年不定形ファッションブランドartburt(アルトノリト)をスタートさせる。2004年より現在まで、演劇、コンテンポラリー・ダンス、パフォーマンス等の衣装デザイン・製作も行う。Noismでは、『Nameless Hands～人形の家』、『Nameless Poison～黒衣の僧』、劇的舞踊『ホフマン物語』の3作品で衣装を手掛ける。 www.artburt.com



コラム

茂木健一郎 Kenichiro Mogi

「純粹」を貫く勇氣

Column: Les Contes

踊りは、強さと優しさを同時に表現することができる。だからこそ、私たちの生命と同じだけの深さと広がりを持つのだ。若くして一人、ヨーロッパに留学した金森穰。異国の地で、厳しさにまみれ、それでも立ち続ける強さを身につけたのだろう。芯がしっかりしているからこそ、やわらかくふるまうことができる。金森穰と、彼が率いるNoismの舞台に接する度に思うのは、もっと強くなればということだ。そして、強さの真髄が何かということが、世間ではいかに誤解されているかということも。

金森穰は、斯界の紛れもない「プリンス」である。モーリス・ベジャールに師事し、ダンスという芸術の最良の伝統を受け継いだ。ヨーロッパを舞台に活躍し、かの地の流儀を身体の中に刻んだ。満を持して帰国する。その後の歩みに人には言えぬ苦労があったことは、想像するに難くない。

金森穰が推し進めている、独自のカンパニーを持ち、定まった拠点で仲間たちと切磋琢磨し、オリジナルの作品を上演しようという試み。日本の風土の中で、そんなやり方を貫くことがいかに難しいことか、容易に想像することができる。幸い、新潟市の理解と支援を得ることにより、金森穰の試みは「持続可能」なものとして続いている。それは、現代の日本における一つの奇跡だということができよう。

密度の濃いコミュニティで切磋琢磨することで、身体表現の細部に「魂」が宿る。それは、鉄を溶かして鍛える際に炎の中に垣間見える、純粋な「黄金」の色に似ている。ダンスの神に向けて所作を高め、観客のために手足に心を込める。やがて、舞台は白熱し、この世で最も輝かしいものの光が見える。忘れない感動が残る。

混迷の時代だからこそ大切な、純粹を貫く勇氣。そんな人の姿は力強く、しかも柔らかい。金森穰とNoismが類希なる舞踊の純度を保ち続けているという事実の中に、現代日本を生きる私たちにとっての、最良の希望がある。

■ 茂木健一郎（もぎ・けんいちろう）

脳科学者。著書に『脳と仮想』（新潮社）等多数。『芸術の神様が降りてくる瞬間』（光文社）に金森穰との対談を収録。NHK『プロフェッショナル 仕事の流儀』キャスター。

SPAC高校演劇フェスティバル2011

言葉と出会い、身体と出会う もうひとつ先の非日常の世界へ

ワイルダー×高校演劇

「SPAC高校演劇フェスティバル」はSPAC人材育成事業の一環として2009年より始まり、今回で3回目の開催となります。静岡県内より参加高校を募集し、面接等の選考を経て4校が選抜されます。この4校が舞台芸術公園「BOXシアター」にて作品を上演します。



常葉学園菊川高校 (2010年2月)



静岡東高校 (2009年2月)



俳優による演技指導 (2009年2月)

“大人の戯曲”に挑み、作品と格闘する高校生たち

本フェスティバルでは、課題戯曲を設定しています。＜言葉と出会い、身体と出会う もうひとつ先の非日常の世界へ＞を開催理念とし、高校生が課題戯曲を通じて、普段の部活動では出会うことのない解釈や表現方法に触れ、新しい価値観を模索する機会を提供したい、とSPACは考えているからです。今回はアメリカの劇作家ソーントン・ワイルダーの初期作品である1幕劇集から5つの作品を課題戯曲としています。ソーントン・ワイルダーの1幕劇集では、日常生活が淡々と描かれ、「誕生」や「死」といった人生にとっての一大事さえも、驚くに足らない日常の一環として書かれています。高校生はこれらの戯曲から何を感じとり、「舞台」という「非日常」の空間でどんな表現方法を発見するのでしょうか…。

プロフェッショナルな演劇スタッフと高校生のコラボレーション

SPACの俳優やスタッフが参加高校を訪問し、作品創造過程に立ち会いながら指導を行います。俳優による演技指導をはじめ、SPAC文芸部・大岡淳による作品解説や歴史的背景についてのレクチャーも行われ、課題戯曲に対する理解を深められるようになっています。また、舞台美術はSPACの美術スタッフがデザインしたものを4校共通で使用します。プロフェッショナルな演劇スタッフと高校生が力を合わせ、作品を練り上げて行きます。

過去のフェスティバル参加高校生の感想より

「演じられる台本もやったことのないタイプのもので不安があったのですが、SPACの方々が演技はもちろんのこと、演出、音響、照明、舞台装置など全ての面であたたくサポートして下さったので、無事に本番を迎えることができました。」

「私は当初、この劇に関心がなく、それなりに見られる劇が出来ればそれで良いと思っていました。しかし、SPACの方々と奥野さん（SPAC俳優）の指導を受けて、劇で何をしたいのか、何を伝えたいのか、自分の中ではっきりとしてきて、徐々に意欲が湧いてきました。劇が終わった今も、その意欲は絶えていません。」

公演概要

2月20日(日)、27日(日) 13時30分開演 (1日2校ずつの上演予定)

会場：舞台芸術公園 稽古場棟「BOXシアター」

チケット料金：無料(要予約)

予約受付：1月29日(土)10時～

SPACチケットセンター TEL.054-202-3399

主催・製作：SPAC(財)静岡県舞台芸術センター

課題戯曲

ソーントン・ワイルダー

『ロング・クリスマス・ディナー』

『フランスの女王たち』『特急寝台列車ハヤワサ号』

『恋わずらいのなおり方』『楽しき旅路』

苦悩

マルグリット・デュラスの

La Douleur

フランス語上演
日本語字幕

2008年ヴェネツィア国際映画祭

「最優秀女優賞」受賞の名女優

ドミニク・ブランの強い希望により

静岡公演決定!

演出：パトリス・シェロー
原作：マルグリット・デュラス
出演：ドミニク・ブラン

3月4日(金) 19時30分開演

◎終演後、トークがあります。

舞台芸術公園 稽古場棟「BOXシアター」

上演時間：80分

4,000円／ペアチケット7,000円／大学生・専門学校生2,000円／高校生以下1,000円

★SPACの会（P.21）のほか、ゆうゆう割引、グループ割引、早期購入割引（最終頁）などの割引料金があります。

無料バス 渋谷発 3月4日(金)は無料バスが運行いたします。詳しくはP.23をご覧ください。

主催：SPAC-(財)静岡県舞台芸術センター 協力：東京日仏学院

L'INSTITUT
東京日仏学院

京都造形芸術大学舞台芸術研究センター

Directed by Patrice Chéreau
Original Text by Marguerite Duras
Performed by Dominique Blanc

■ 4 March at 19:30

BOX Theatre, Shizuoka Performing Arts Park
Duration : 80minutes

京都公演 2月19日(土) 18時開演
会場：京都芸術劇場春秋座（京都造形芸術大学内）
主催：京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
お問い合わせ：TEL 075-791-9207

東京公演 2月21日(月)22日(火) 19時開演
会場：シアターXカイ
主催：東京日仏学院
提携：シアターXカイ
お問い合わせ：東京日仏学院 TEL 03-5206-2500

フランスの国民的名女優、静岡へ —— ドミニク・ブランの一人芝居

『苦悩』は、フランスの国民的名女優ドミニク・ブランの一人芝居です。フランスでは知名度・実力ともに最も優れた女優の一人として知られ、数々の名作映画で活躍した後、2008年ヴェネツィア国際映画祭で最優秀女優賞を受賞し、国際的にもその類い稀な演技力にますます注目が集まっています。そのブランが自ら「静岡で！」と熱望し、本公演が実現しました。ブランは本作の演技により2010年モリエール最優秀女優賞を受賞しています。

女流作家マルグリット・デュラスの＜戦争の記憶＞

『苦悩』は、フランスの作家マルグリット・デュラスの戦時中の日記をもとに構成された作品です。ドミニク・ブラン演じるデュラスはナチスにより強制収容所に送られた夫の帰りを待ち続けます。本作は、そんな一人の女性を通して、戦争によって深い苦悩へ追い込まれる人間の姿を浮き彫りにしています。もはや殺されてしまったかも分からない夫の帰りを待つという残酷な状況の中、精神錯乱に陥るほどの困難な心境を繊細に演じ切るブランの演技力は必見です。

■ドミニク・ブラン Dominique Blanc

1990年代以降のフランスで最も重要な女優の一人。1956年リヨン生まれ。1980年にフロラン演劇学校を卒業後、国立高等演劇学校（コンセルヴァトゥール）を受験するが不合格となる。同年パトリス・シェローに見出され、翌年の『ペール・ギュント』でデビュー。1997年、デボラ・ワーナー演出『人形の家』でモリエール最優秀女優賞を受賞。2003年、パトリス・シェロー演出『フェードル』でフランス批評家連盟最優秀女優賞を受賞。2010年、パトリス・シェロー演出『苦悩』で二度目のモリエール最優秀女優賞を受賞。映画女優としては2008年に『他者』でヴェネツィア国際映画祭最優秀女優賞を受賞。他に『主婦マリーがしたこと』（クロード・シャブリル監督）、『五月のミル』（ルイ・マル監督）、『インドシナ』、『王妃マルゴ』（パトリス・シェロー監督）、『太陽と月に背いて』（アニエスカ・ホランド監督）など数々の名作に出演。

■パトリス・シェロー Patrice Chéreau

1944年生まれ。フランスの演出家。1966年、22歳でサルトル・ヴィル劇場の芸術監督に就任し、マリヴォーなどのそれまであまり上演されなかった古典作品を新解釈で演出し、話題を呼ぶ。オペラの演出も手がけ、1972年のパイロイト音楽祭でピーエール・ブーレーズの指揮でワーグナー『ニーベルングの指輪』を演出。1982年から1990年までナンテール・アマンディエ劇場の芸術監督としてコルテスやジュネの作品を発表。スケールの大きな舞台美術と鋭い社会批判で知られ、演出作品において数々の論議を呼んだことでも有名。『王妃マルゴ』（1994、カンヌ国際映画祭審査員賞）、『インティマシー／親密』（2001、ベルリン国際映画祭金熊賞）、『ソ・フレール・兄との約束』（2003）などの映画監督としても知られる。

■マルグリット・デュラス Marguerite Duras

フランスの女流作家（1914～1996）。『タルキニアの子馬たち』（1953）以降人間の内面を直観捉えようとした作品で知られ、『モデラート・カンタービレ』（1958）によってヌーヴォ・ロマンに近い作家とみなされるようになる。小説に『広場』（1955）、『夏の夜の10時半』（1960）、『アンデスマ氏の午後』（1962）、『イギリスの恋人』（1967）、『愛人／ラマン』（1984）。映画シナリオに、広島を舞台にフランス人女優と日本人建築家の関係を描いた『24時間の情事』（1959、アラン・レネ監督、原題（Hiroshima mon amour））。1984年ゴンクール賞受賞。

大女優ドミニク・ブランは静岡の舞台に立つことを夢見ていた —— 横山義志

大変な顔ぶれが揃ったものである。パトリス・シェロー、ドミニク・ブラン、マルグリット・デュラス——。パトリス・シェローは若くして演劇シーンを震撼させたフランス演劇界の奇才であり、オペラの演出でも知られ、映画監督としても数々の栄冠を手に入れている。ドミニク・ブランは、2008年にヴェネツィア映画祭最優秀女優賞を受賞、演劇ではこの『苦悩』で2010年モリエール賞最優秀女優賞を獲得している。演劇と映画を通じて、フランスで今一番脂がのっている女優といってもいい。日本でのツアー先を探している、という話が来たとき「Shizuoka春の芸術祭」には時期が合わず、一旦お断りの連絡を入れた。すると、関係者から意外なメッセージが届いた。「ドミニク・ブランさんは、静岡の舞台に立つことを夢見て(!)いらっしゃいます。俳優のご友人達が何人も静岡の舞台に立っていて、すばらしかったと聞いている、とのこと。どうか再検討いただけないでしょうか。」これには驚かされた。私事になるが、フランスで

演劇を勉強した後2007年にSPACに来て、常にヨーロッパの最良の舞台を日本に紹介したいと思って働いてきた。毎年アヴィニオン演劇祭に行くたびに、ヨーロッパの演劇人の中でSPACの認知度が少しずつ上がってきているのを感じてはいたが、これほどの大女優から言われると感無量である。しかも日程の都合で今回はベトナム公演とニュージーランド公演の間に静岡に立ち寄ることになるという。そこまでして来てくれるのにも驚いた。デュラスの『苦悩』は『愛人／ラマン』につづいて発表された自伝的作品である。原題「La Douleur」の第一義は肉体的な苦痛のことで、「作品」という言葉が不似合いなほどに生々しい思いが綴られている。シェロー演出はかつて大がかりな装置で知られたが、この作品には全くの裸舞台で挑んでいる。日本平の森のなかにひっそりと建てられた劇場で、世界の演劇を知る静岡の観客たちに、ドミニク・ブランが裸で対峙するのを見るのが、今から楽しみである。

横山義志（よこやま・よしじ） SPAC文芸部。2008年パリ第10大学演劇科博士号取得。SPACで招聘公演の選定などに携わる。

アーカイブ オブ SPAC 2010

2010年11月現在

1 月 — 『ロビンソンとクルーソー』

演出：イ・ユンテク 台本：ふじたあさや 出演：SPAC

言葉の通じない韓国人と日本人が無人島で出会って心を通わせる様子がコミカルに演じられました。韓国人役の仲谷智邦は台詞を全て韓国語で演じ切りました。2月と7月には韓国でも上演。



写真撮影：原田さやか

2 月 — 『SPAC高校演劇フェスティバル2010』 『異才・天才・奇才SPAC子ども大会』

出演：静岡県内の高校生

出演：静岡県内の小学生

3 月 — 『ペール・ギュント』

演出：宮城聡 原作：イブセン 音楽：棚川寛子 出演：SPAC
ペール・ギュントの一生を「日本の近代化」に見立てた演出が話題に。また床面の穴から俳優が飛び出すという舞台美術は観客を驚かせました。



写真撮影：橋本武彦

4 月 — 『王女メデシア』 (コロンビア公演)

台本・演出：宮城聡 原作：エウリピデス 音楽：棚川寛子 出演：SPAC
コロンビアのボゴタで開催された「イベロアメリカ国際演劇祭」に招聘されました。同演劇祭のトリを飾り、終演後には観客が舞台へ押し寄せるほどの好評でした。



写真撮影：内田琢磨

4 月 — SPAC俳優による『朗読とピアノの午後』

構成・演出：大岡淳 出演：SPAC

5 月 — 有度サロン公演

『天の響き・地の響き 打楽器によるソロ・コンサート』

出演：高田みどり

多彩な打楽器による荘厳な演奏に聴衆は圧倒されました。楯門堂の静謐な空間にぴったりのコンサートでした。

『エレクトラ』

演出：鈴木忠志 原作：ホーフマンスタール、エウリピデス
音楽：高田みどり 出演：SCOT

鈴木忠志の渾身の演出によって、エレクトラの苦しみが身に染みる上演となりました。

8 月 — SPACシアタースクール2010夏発表会『モモ』

演出・指導：中野真希 原作：ミヒヤエル・エンデ 出演：静岡県内の小学6年生から高校2年生

小学生から高校生までがともに劇場で1ヶ月の稽古に励み、その成果を存分に発揮しました。

SPAC秋のシーズン2010

「平凡＝幸せって本当ですか？ だったらなぜ、日本中に幸せがあふれていないの？」

“SPAC×6人の演出家”をコンセプトに、今注目の演出家たちの作品を上演しました。

9 月 — 『ユメミルチカラ—REVE DE TAKASE—』

振付：メルラン・ニヤカム 出演：SPAC-ENFANTS(スパカンファン)

オーディションによって選ばれた中高生計10名が国際的な振付家メルラン・ニヤカムのもと作品づくりに取り組み、子供達とは思えない完成度は多くの観客を驚かせました。



写真撮影：日置真光

9 月 — SPAC県民劇団「がくらく座」

『こだまがきこえる社』

作・演出：佐藤剛史

日本平を舞台にしたオリジナル作品と多彩な出演者による舞台づくりが共感を呼びました。

SPACサテライト劇団「劇団静火」

『ヴェニス商人』

構成・演出：渡辺亮史 原作：シェイクスピア

エネルギッシュな「劇団静火」は健在。シェイクスピアの名作をドキドキするほどドラマチックに蘇せました。

10 月 — 『令嬢ジュリー』

演出：フレデリック・フィスバック 作：アウグスト・ストリンドベリ 出演：SPAC

フィスバック演出は、日本における『令嬢ジュリー』のイメージを一新するほどの画期的なものでした。原作にはない群衆の登場や、斬新な舞台装置により、本作の持つ問題が現代の私たちにも通じるものとして感じられました。



写真撮影：三浦興一

10 月 — インド古典舞踊劇『シヴァの結婚～神のこころがなびくとき～』『おさなごクリシュナを探す旅』

演出：ゴパール・ヴェヌ 出演：カピラ・ヴェヌ、ナタナカイラリ

インドの若き天才舞踊家カピラ・ヴェヌは、その驚くほど豊かな身体表現で観客を魅了しました。

10 月 — 県民参加体験創作劇場2010

『世界は踊る～ちいさな経済のものがたり～』

作・演出：バスカル・ランベール 共同演出：大岡淳

約30名の静岡県民が参加し、コーラスやムーブメントによって物々交換やサブプライムローンの仕組みを明らかにするという従来の演劇の枠に囚われない作品でした。



写真撮影：三五茜

10 月 — 『わが町』

演出：今井朋彦 作：ソーントン・ワイルダー 音楽：松本泰幸 出演：SPAC

文学座の実力俳優・今井朋彦による演出が話題に。俳優のバントマイムやサックスの演奏を効果的に用いて「日常生活の輝き」を浮き彫りにし、感動の声がぞくぞくと寄せられました。

11 月

11 月 — SPAC俳優による『朗読とピアノの午後』 構成・演出：大岡淳 出演：SPAC

『しんしゃく源氏物語』 演出：原田一樹 作：榊原政常 出演：SPAC



写真撮影：日置真光

12 月 — 有度サロン公演

『早池峰岳神楽』

出演：早池峰岳神楽保存会

『リア王 4カ国語版』

演出：鈴木忠志 原作：シェイクスピア 出演：SCOT

6月
7月

Shizuoka春の芸術祭 2010

「未完成な世界 harmony 恋の終わらざるごとく世界も終わらざるなり」

SPACが開催する国際演劇祭「Shizuoka春の芸術祭」は今年も大盛況！11ヶ国から13演目が参加し、世界最先端の舞台芸術を披露してくれました。SPAC製作の作品は『若き俳優への手紙』『ペール・ギュント』『王女メデシア』の3作品。いずれもご好評をいただきました。また清水区にある「スノードール・カフェ」で開かれた「フェスティバル・バー」では、観客とアーティストの交流の場が生まれました。

招聘作品(左から):『4.48』(台湾、ドイツ)、『彼方へ 海の讃歌』(フランス、ポルトガル)、『セキュリティー・オブ・ロンドン～監視カメラの王国～』(イギリス)、『頼むから静かに死んでくれ』(カナダ、フランス)、『アルカン、天狗に出会う～(H)arlequin/Tengu～』(フランス)、『リオ・デ・ジャネイロ つかの間の愛』(ブラジル)、『南十字☆路』(インドネシア)、『毛皮のマリー』(日本)、『太陽の帝国』(韓国)、『霸王歌行—項羽、歌の翼にのる』(中国)

写真(右から):『フェスティバル・バー』、『若き俳優への手紙』(SPAC製作)



SPAC年間スケジュール(予定)

2011	
4月	中高生鑑賞事業『グリム童話～少女と悪魔と風車小屋～』 演出：宮城聰 作：オリヴィエ・ピィ 音楽：棚川寛子 出演：SPAC
6月 ～ 7月	「Shizuoka春の芸術祭」改め「ふじのくに・せかい演劇祭」(仮) *『野田秀樹の真夏の夜の夢』 演出：宮城聰 作：野田秀樹 出演：SPAC
7月	*『スガンさんのやぎ』 演出：ジャン・ランベール＝ヴィルド 製作：カーン国立演劇センター
7月 ～ 8月	SPAC県民月間 SPACシアタースクール2011夏 発表会 出演：静岡県内小中高生
8月	*『ユ メ ミ ル チ カ ラ ― REVE DE TAKASE ―』 振付・演出：メルラン・ニヤカム 出演：SPAC-ENFANTS(スパカンファン)
	「SPAC秋のシーズン2011」
9月	中高生鑑賞事業『走れメロス』 演出：安田雅弘 作：太宰治 出演：SPAC
10月	*SPAC県民劇団公演 *SPAC俳優による『朗読とピアノの午後』 構成・演出：大岡淳 出演：SPAC *『ガラスの動物園』 演出：ダニエル・ジャンストー 作：テネシー・ウィリアムズ 出演：SPAC ※中高生鑑賞事業あり
11月	*『オイディプス王』 演出：小野寺修二 作：ソフォクレス 出演：SPAC ※中高生鑑賞事業あり *SPAC俳優による『朗読とピアノの午後』 構成・演出：大岡淳 出演：SPAC
12月	*SPAC俳優による『朗読とピアノの午後』 構成・演出：大岡淳 出演：SPAC
2012	
1月	*『グリム童話～少女と悪魔と風車小屋～』 演出：宮城聰 作：オリヴィエ・ピィ 音楽：棚川寛子 出演：SPAC ※こどもたちの文化芸術鑑賞推進事業あり
2月	SPAC高校演劇フェスティバル2012 出演：静岡県内の高校生
3月	異才・天才・奇才 第13回SPACこども大会2012 出演：静岡県内の小学生

*はSPACの会個人会員のご招待対象演目となります。

深蒸し茶流 劇評塾

劇評を募集します。全ての劇評をSPAC文芸部(大澤真幸、大岡淳、横山義志)が講評します。

◎字数：2000字程度 ◎締切：批評対象の舞台を観劇した5日後必着

投稿方法

E-mail、FAX、郵送のいずれかで投稿してください。E-mailの場合は件名欄に、FAXの場合は1ページ目の冒頭に、郵送の場合は封筒の表書きに、必ず「投稿劇評」と書いてください。
E-mail：mail@spac.or.jp FAX：054-203-5732
住所：〒422-8005静岡県駿河区池田79-4 (財)静岡県舞台芸術センター劇評係

●原稿には住所、氏名(ペンネームの方は本名・ペンネーム両方)、電話番号・E-mail等複数の連絡先、観劇日を明記してください。●入選者には原稿料10,000円をお支払いし、SPACホームページに劇評を掲載します。また、SPACの公演に1回分ご招待します。●準入選者はSPACホームページに劇評が掲載されます。ただし原稿料はお支払いしません。●ここで3回入選した方は卒業。プロの書き手としての活動をSPACが応援します。

SPAC公演の劇評は、SPACホームページでご覧いただけます。 <http://www.spac.or.jp>

劇評ワークショップ も開催予定です。概要は決定次第SPACホームページでお知らせします。

SPACの会

会員募集開始

〈SPACの会〉がリニューアル! とってもお得になりました!

NEW

その1

個人会員(年会費10,000円)
「静岡芸術劇場会員」から名称が変わります。

NEW

ゆうゆう個人会員(年会費9,000円)
※入会時に満60歳以上の方が対象となります

- ◎ **[NEW]** 静岡芸術劇場と野外劇場「有度」でのSPAC主催公演に年間3回ご招待します。
(ご招待枠はどなたにでもお譲りすることができます)
- ◎ **[NEW]** 4公演以上ご覧になる場合は、すべての公演が1名様で15%引き、2名様以上で20%引きでご購入いただけます。
(通常4,000円のところ、1演目1名様 3,400円、2名様以上 3,200円)
- ◎ チケットの先行予約ができます。
- ◎ 1公演につき1回、会員証提示によりカフェ「シンデレラ」のドリンクをサービスします。

早 得 キャンペーン! 2011年1～3月にご入会の方に限り、『グリム童話』公演(2011年3月)に1名様ご招待します。

その2

SPACの舞台芸術を支える個人向け

支持会員(年会費100,000円)

- ◎すべての公演、講座に2名様までご招待します。
- ◎ **[NEW]** チケットをご購入の場合は30%引きとなります。(通常4,000円のところ、1演目1名様2,800円)
- ◎ 観劇当日、カフェ「シンデレラ」のドリンクチケットを贈呈。
- ◎ チケットの先行予約ができます。 ◎SPACのウェブサイトにお名前を掲示いたします。

その3

SPACと協働して地域の文化振興を担う

団体・法人会員(年会費100,000円)

- ◎すべての演目、講座に2名様までご招待します。
- ◎ **[NEW]** チケットをご購入の場合は30%引きとなります。(通常4,000円のところ、1演目1名様 2,800円)
- ◎ チケットの先行予約ができます。 ◎SPACのウェブサイトにお名前を掲示いたします。

その4

SPACの活動を、広報宣伝していただける法人・企業の方

法人サポーターズクラブ(年会費無料)

- ◎ チラシの設置やポスター掲示にご協力いただける方 ◎SPACのウェブサイトにお名前を掲示いたします。

SPACの会会員の方のご観劇までの流れ

- 1

公演のご案内

ー チラシや冊子などの公演情報が、いち早く郵送にてお手元へ届きます。
- 2

観劇申込み

ー 前売り開始前の先行予約を受け付けます。Web、お電話または窓口にて、お申し込みください。
※支持会員・法人会員様のみFAXでも承ります。
- 3

チケットのお受け取り

ー 支持会員・法人会員…公演当日、SPACの会の受付でお名前をお伝えいただき、チケットをお受け取りください。
個人会員・ゆうゆう個人会員…ご予約後、窓口・セブンイレブン・郵送のいずれかにて事前にチケットをお受け取りください。

お申込み方法

申込書に必要事項(会員の種類、お名前、住所、電話番号、メールアドレス、FAX番号、生年月日【個人会員、支持会員のみのみ】)をご記入の上、郵送、(〒422-8005 静岡県駿河区池田79-4)、FAX(054-203-5732)またはE-mail(mail@spac.or.jp)にてお申し込みください。 ※ゆうゆう個人会員については、ご本人確認をさせていただきます。

お問い合わせ先

財団法人静岡県舞台芸術センター 芸術局
(TEL：054-203-5730 FAX：054-203-5732 E-mail：mail@spac.or.jp)

SPACファン感謝デー 3月26日(土) 時間未定

会場：静岡芸術劇場 料金：無料(予約不要)

SPAC劇団員が日頃の感謝をこめて皆様をおもてなしいたします。俳優をはじめ、普段表に出ないスタッフのステージパフォーマンスや、手作り料理などのブースがロビーにひろがります。1年に1度、劇場がテーマパークに! 3月26日は静岡芸術劇場へお立ち寄りください。

詳細は決定次第SPACホームページでお知らせします。 <http://www.spac.or.jp>



関連企画

SPAC芸術街道★ リーディング・カフェ・ツアー

参加者ひとりひとりが戯曲を声に出して読んでみようという「リーディング・カフェ」。お茶を飲みながら気軽に楽しめる人気企画です。静岡県下の宿場町22カ所＋αにSPAC俳優が出張し、案内役を務めます。この機会にぜひお出かけください。

読む戯曲「ドン・ファン」

- ① 12月9日(木) 19:30 @牧之原 This Is Cafe 牧之原市細江2151-5 TEL.0548-23-5766
- ② 12月17日(金) 19:00 @焼津みなと 三福旅館 焼津市本町3-2-1 TEL.054-628-3582

読む戯曲「グリム童話～少女と悪魔と風車小屋～」

- ③ 2月16日(水) 18:30 @由比宿 ねぎぼうず 静岡市清水区由比北田141-3 TEL.054-375-3222
- ④ 2月17日(木) 18:30 @沼津宿 自然派カフェレストラン てしお(teshio) 沼津市御幸町15-1 (沼津市民文化センター内) TEL.055-933-0866 E-mail: info@cafe-teshio.com
- ⑤ 2月19日(土) 14:00 @見附宿 DOLCE倉庫 磐田市福田6085 TEL.0538-58-1422(伊東)
- ⑥ 2月21日(月) 19:00 @府中宿 ペルエキップベジタブル 静岡市葵区伝馬町10-1ヴィラ伝馬町2F TEL.054-251-0200
- ⑦ 2月24日(木) 19:00 @江尻宿 栗田屋 静岡市清水区真砂町5-26 TEL.0543-66-3228

共通事項 ●参加費：1,000円(ドリンク代込み) マイカップ持参大歓迎！ご自慢のカップをお持ち寄りください。
●ご予約・お問い合わせ：SPACチケットセンター TEL.054-202-3399 ※ご予約は各会場でも承ります。



SPAC×ロダン館第2弾！ ロダンと朗読とチェロの午後 —木枯に真珠の如きまほろかな 川端茅舎—

宮沢賢治『セロ弾きのゴーシュ』

演出：大岡淳 出演：奥野晃士 チェロ：長谷川陽子

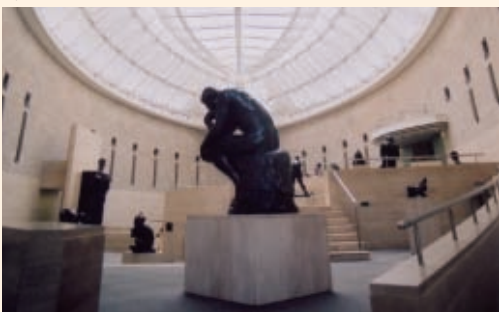
12月16日(木) 15:00～

会場：静岡県立美術館ロダン館

料金：300円 ※大学生以下と70歳以上の方は無料
定員：100名(先着順)
※当日13:00より本館1Fインフォメーションにて整理券配布

第一級のチェリストである長谷川陽子さんの演奏と、SPAC俳優・奥野晃士の朗読によるパフォーマンスです。宮沢賢治の物語が、俳優によって語られ、チェロによって奏でられ、ロダンの彫刻たちの佇む空間に響き渡り、異世界へ皆さんを導きます。がんばって生きている全ての人々のために——ちょっと早めのクリスマス・プレゼントです。

お問い合わせ：静岡県立美術館総務課
TEL.054-263-5755



ドン・ファン路上パフォーマンス

1月15日(土)

会場：◎静岡市葵区伝馬町けやき通り SHIZUOKA109前(14:00～)

◎静岡市葵区御幸町 ペガサート地下広場(15:00～)

※雨天の場合は中止もしくは延期

『ドン・ファン』出演俳優が街に登場！“あ”と言わせるエキサイティングな路上パフォーマンスにご期待ください！

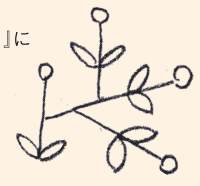


静岡県芸術祭第50回記念式典

舞台公演『はばたけ 世界へ！そして 未来へ！』に
SPAC俳優・奥野晃士が登場します！

2月13日(日) 14:00～16:00

会場：グランシップ中ホール



無料バス情報 SPACスプリングシーズン2011 観劇ツアー無料バス

東京、浜松、三島、富士、沼津から無料バスを運行いたします。チケットをご購入のお客は先着順でどなたでもご利用になれます。

東京バス	「ドン・ファン」1月23日(日) 9:30 渋谷発 → 13:00 静岡芸術劇場着	集合場所 青山学院大学 青山キャンパス正門前
	「苦悩」3月4日(金) 15:00 渋谷発 → 18:30 舞台芸術公園着 ※復路は3月5日(土)の「グリム童話」終演後の便をご利用ください。	
	「グリム童話」3月5日(土) 11:30 渋谷発 → 15:00 静岡芸術劇場着	
	3月6日(日) 9:30 渋谷発 → 13:00 静岡芸術劇場着	
浜松バス	3月12日(土) 13:30 渋谷発 → 17:00 静岡芸術劇場着	集合場所 JR浜松駅北口(アクトシティ裏)
	3月13日(日) 9:30 渋谷発 → 13:00 静岡芸術劇場着	
	「ホフマン物語」3月20日(日) 11:30 渋谷発 → 15:00 静岡芸術劇場着	
三島・富士バス	「ドン・ファン」1月30日(日) 11:15 三島発 → 12:10 富士経由 → 13:00 静岡芸術劇場着	集合場所 JR三島駅北口 JR富士駅南口
三島・沼津バス	「グリム童話」3月13日(日) 11:30 三島発 → 11:50 沼津経由 → 13:00 静岡芸術劇場着	集合場所 JR三島駅北口 JR沼津駅北口 Bivi沼津前

各バス便、集合時間は出発時刻の15分前です。 ※お帰りの便は、トーク終了後に静岡芸術劇場前より出発いたします。

申込方法 電話 SPACチケットセンター TEL.054-202-3399 E-mail bus@spac.or.jp

乗車ご希望のお客は、①氏名、②ご希望の日にち、③人数、④当日ご連絡が取れる電話番号、⑤往復か片道(往路か復路)か、⑥乗車場所(三島・富士・沼津の場合)を、電話またはメールにてご連絡ください。メールの場合、件名欄に「○○バス希望」と必ずお書きください。

●このバスは定員になり次第、締め切らせていただきます。観劇予定のチケットは必ずバス予約の前に電話・窓口・ウェブにてご予約ください。 ●到着の時間は概ねの時間帯です。上演時間、出発時間、交通事情により大幅に変更となる場合もございますが、責任は負いかねます。予めご了承ください。 ●事情により、集合時間、行程を変更する場合があります。 ●バス車内ではシートベルト着用、禁煙にご理解ご協力をよろしくお願いします。

交通情報

静岡芸術劇場 JR東静岡駅南口から徒歩約5分、グランシップの東側(清水寄り)に入口があります。

電車	◎最寄り駅のJR東静岡駅は、JR静岡駅より東海道本線(沼津・熱海方面、上り)約3分です。 ◎静鉄長沼駅から徒歩約12分です。	自家用車	JR東静岡駅を目標にお越しください。 駅南のグランシップ一般駐車場をご利用ください。 ※駐車料金1時間100円。劇場内の精算機をご利用ください。
----	---	------	--

舞台芸術公園 稽古場棟「BOXシアター」

JR静岡駅から約25分、JR東静岡駅から約15分です。

「高校演劇 フェスティバル」 13:30開演	行き	JR静岡駅 北口11番乗場 12:22	JR東静岡駅 南口2番乗場 12:32	舞台芸術公園 12:43
	帰り	舞台芸術公園 16:43	JR東静岡駅 南口 16:55	JR静岡駅 北口 17:08

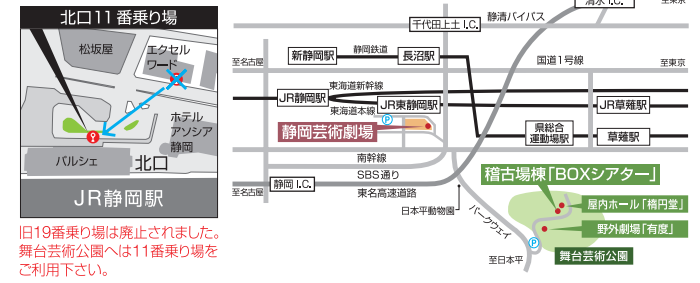
無料チャーター便

(2010年11月現在)

「苦悩」 19:30開演	JR東静岡駅 南口	舞台芸術公園
	18:05 18:45	18:20 19:00

※公演終了にあわせ、JR東静岡駅行きの無料チャーター便を運行します。

※公演終演にあわせ、JR東静岡駅行きの無料チャーター便を運行します。



旧19番乗り場は廃止されました。
舞台芸術公園へは11番乗り場をご利用下さい。

◎東名高速道路清水I.C.から車で約30分、静岡I.C.から約35分、静岡バイパス千代田上土I.C.から約25分です。
◎日本平動物園より日本平方面へ1.8キロ先左手の舞台芸術公園内バスロータリーに駐車してください。

静岡市までのアクセス

高速バス

静岡までの高速バスは以下のウェブサイトをご参照ください。
【高速バスネット】
◎パソコンからのご予約
<http://www.kousokubus.net/PC>
◎携帯電話からのご予約
<http://www.kousokubus.net/k>

飛行機

富士山静岡空港からのアクセス
JR静岡駅までの所要時間：バスで50分
お問い合わせ：しずてつジャストライン株式会社
TEL.0120-012-990

JR東海道線時刻表 ■JR静岡駅発 沼津・熱海方面(平日・休日 上り)						■JR東静岡駅発 静岡・浜松方面(平日・休日 下り)					
時	分(行き先)					時	分(行き先)				
12	3(興津)	12(熱海)	22(興津)	33(三島)	43(興津)	53(沼津)	15	6(島田)	17(島田)	26(浜松)	37(島田)
13	3(興津)	13(三島)	23(興津)	33(三島)	44(興津)	53(熱海)	16	9(島田)	17(浜松)	24(静岡)	38(浜松)
14	3(興津)	13(熱海)	23(興津)	33(熱海)	42(興津)	53(熱海)	17	2(島田)	7(浜松)	14(静岡)	20(浜松)
15	3(興津)	13(熱海)	26(熱海)	33(熱海)	43(興津)	52(三島)	18	12(浜松)	25(豊橋)	36(浜松)	50(島田)
16	7(熱海)	16(興津)	29(熱海)	36(熱海)	46(興津)	—	19	4(浜松)	18(浜松)	26(浜松)	41(浜松)
17	0(熱海)	10(沼津)	23(熱海)	33(熱海)	53(熱海)	—	20	7(浜松)	17(浜松)	25(島田)	49(島田)
18	3(沼津)	13(熱海)	24(富士)	36(熱海)	50(熱海)	—	21	7(浜松)	19(島田)	37(静岡)	49(島田)
19	6(沼津)	21(熱海)	30(東京)	42(興津)	52(三島)	—	22	1(静岡)	26(静岡)	44(静岡)	—

※興津・富士・沼津・三島・熱海・東京行きの全ての各駅停車が東静岡駅に停車します。

(2010年11月1日現在)

チケット情報

チケット料金

一般1演目

4,000円

ペアチケット(2枚)

7,000円

『ドン・ファン』、『苦悩』、『グリム童話～少女と悪魔と風車小屋～』、『ホフマン物語』

割引システムが新しくなりました。お得な割引料金をご利用ください！ ※各種割引を組み合わせるご利用はできません。

学生の方にお得です！

学割

【大学生・専門学校生】2,000円 【高校生以下】1,000円

※公演当日、受付にて学生証をご提示ください。

NEW

60歳以上の方にお得です！

ゆうゆう割引

満60歳以上の方が対象となります。

【1演目1名様】3,400円 【ペアチケット(2枚)】6,400円

※ご利用の際は必ず予約時に「ゆうゆう割引」でお申込ください。

※ペアチケットをご購入される場合、同行者も満60歳以上の方が対象となります。

※公演当日、受付にて身分証をご提示ください。

NEW

友人や家族と一緒に観劇しよう！

グループ割引

【3名様以上】おひとり様 3,200円

※学割対象者は人数に含まれません。※10名様以上は電話・窓口のみでのお取り扱いになります。

NEW

早めの予約がお得です！

早期購入
割引

公演日の約1ヵ月までにご予約
いただくと10%お得です！

【1演目1名様】3,600円

申込
期限

『ドン・ファン』1月8日(土)まで

『苦悩』2月5日(土)まで

『グリム童話』2月5日(土)まで

『ホフマン物語』2月19日(土)まで

NEW

もう1度観たい方におすすめ！

リピーター
くちコミ
割引

同じ演目の半券を持ってくれば20%お得です！

【1演目1名様】3,200円

※公演当日に半券をご提示ください。

※対象公演：『ドン・ファン』『グリム童話』『ホフマン物語』

※半券は、ご本人様でなくてもご使用いただけます。

【静岡県内中学生以下の方ご招待】

『ドン・ファン』『グリム童話』『ホフマン物語』について、静岡県内の中学生以下の方はご招待となります。(30名様まで)

入場無料(要予約)

「異才・天才・奇才 SPAC子ども大会2011」、「SPAC高校演劇フェスティバル2011」

予約受付開始：2011年1月29日(土) 10:00～ ※ご予約の受付は、電話が窓口のみとさせていただきます。

チケット前売り開始／12月19日(日) 10:00～

SPACの会会員先行予約開始／12月12日(日) 10:00～

チケット購入方法

電 話	SPACチケットセンター	TEL. 054-202-3399	受付時間／ 10:00～18:00
窓口販売	静岡芸術劇場チケットカウンター	受付時間／10:00～18:00	
ウェブ予約	http://www.spac.or.jp		
セブン・イレブンでの販売	店内マルチコピー機をご利用ください。		
携帯電話からの予約	http://www.spac.or.jp/m/		こちらのQRコードからもアクセスできます▶

※チケットのご予約受付は公演前日の18時までとなります。※12月29日～1月4日は、電話と窓口販売はお休みとさせていただきます。

当日券

＜静岡芸術劇場での公演＞公演当朝10時より、静岡芸術劇場チケットカウンターで販売します。

＜舞台芸術公園での公演＞開演の1時間前より、BOXシアターの受付にて販売します。

※当日券の有無を公演当日必ずお電話もしくはtwitterにてお確かめください。SPACチケットセンター TEL.054-202-3399



SPAC
artistic director Satoshi MIYAGI

お問い合わせ

財団法人静岡県舞台芸術センター

〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4 TEL.054-203-5730 FAX.054-203-5732

支援： 平成22年度文化庁優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 後援：静岡県 静岡市

SPACホームページ <http://www.spac.or.jp>

※この冊子に関するご意見・ご感想をお聞かせください。

2011年、SPACは15年目を迎えます。

もっと愛されるSPACへ、さらなる飛躍のために
SPACは変わります。

詳細は、随時、SPAC公式ホームページでお知らせいたします。

SPAC

検索

ふじのくに
芸術回廊